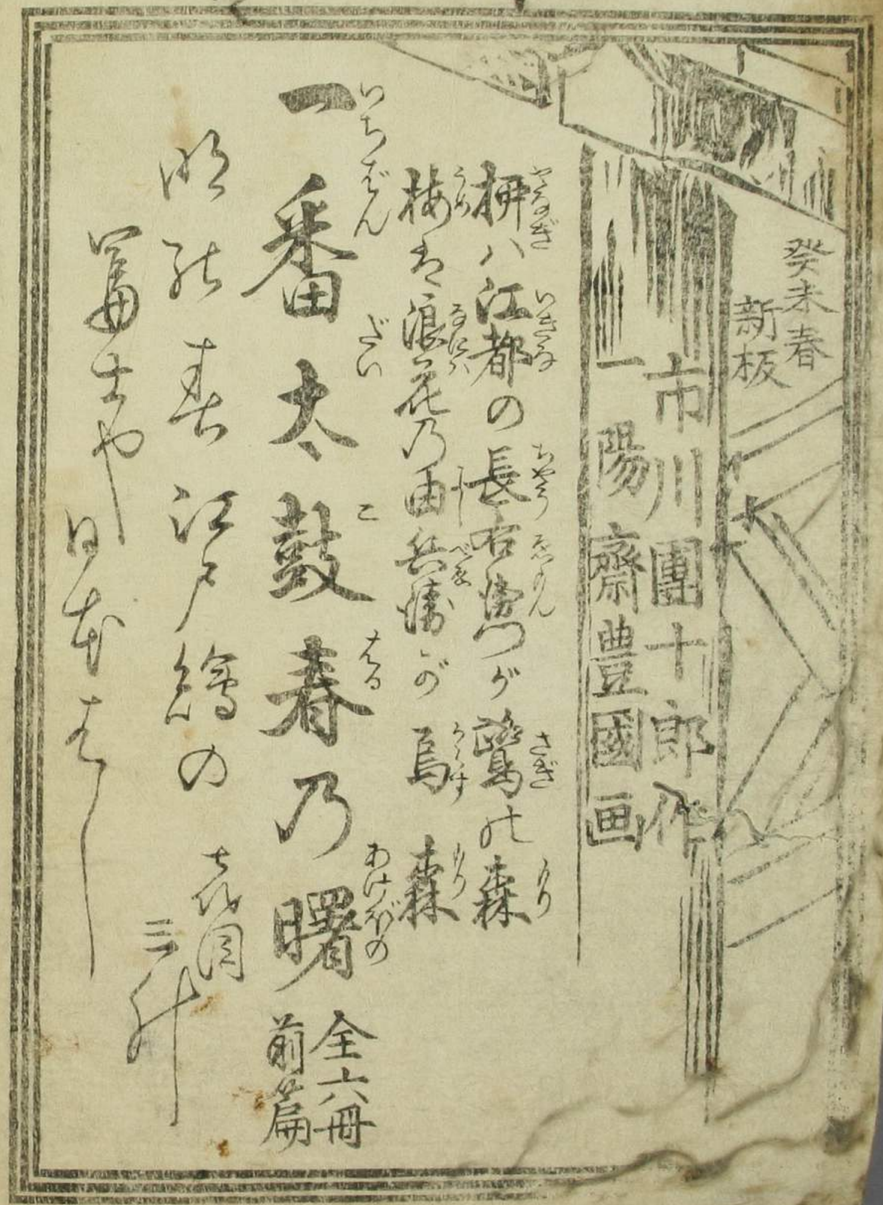
へ13
2378
344

遠13特
2378
347



序

春あけぼの東絵よ古い新向もあるこれ。○乃始ふ字操て。
猫いらちの板元も。欲の和中れかひ言ふ八橋清をはくご神仏と
情のくどれ帯屋。三筋の縁よ抜灯の印もそれと三津文印
なるその斤神も。憲うさ八橋の初霜八やの字結び社奥勤。
人ハ藝ごれ紀字国屋意氣るお仲と清七ぶ名代かり於の
十所を清。不で小ロも茅地の極戸。うちて八則後王よ兎あ身
るも巳元鬼刑鬼の女房よいどちおる女達ごいその姫雪れ
目の手ご節ぶ添手綱れ初月れ出ごくや桜の国を清と其後香の猫
助ぶ忠と孝との二ヶ文字おまと貴に七石鬼つ浮名と流す初鶴川。
その袖止のうち掛八布袋屋ごれ初南内柳の浜ぬきごれ桜と福
の伸の町抜ハ花ハ弟めでく敵を折くりや一番太鼓。

文政六年 癸未 初春 七代目 市川三升述

扇谷の町人
帯屋長右衛門
後ふ
雁金十郎兵衛
鬼十郎
清兵衛の女房
雷
おそる

男達
梅の由兵衛
後に
片岡幸左衛門
後ふ
藝者
お仲
初霜
言号
兵助の
磯貝

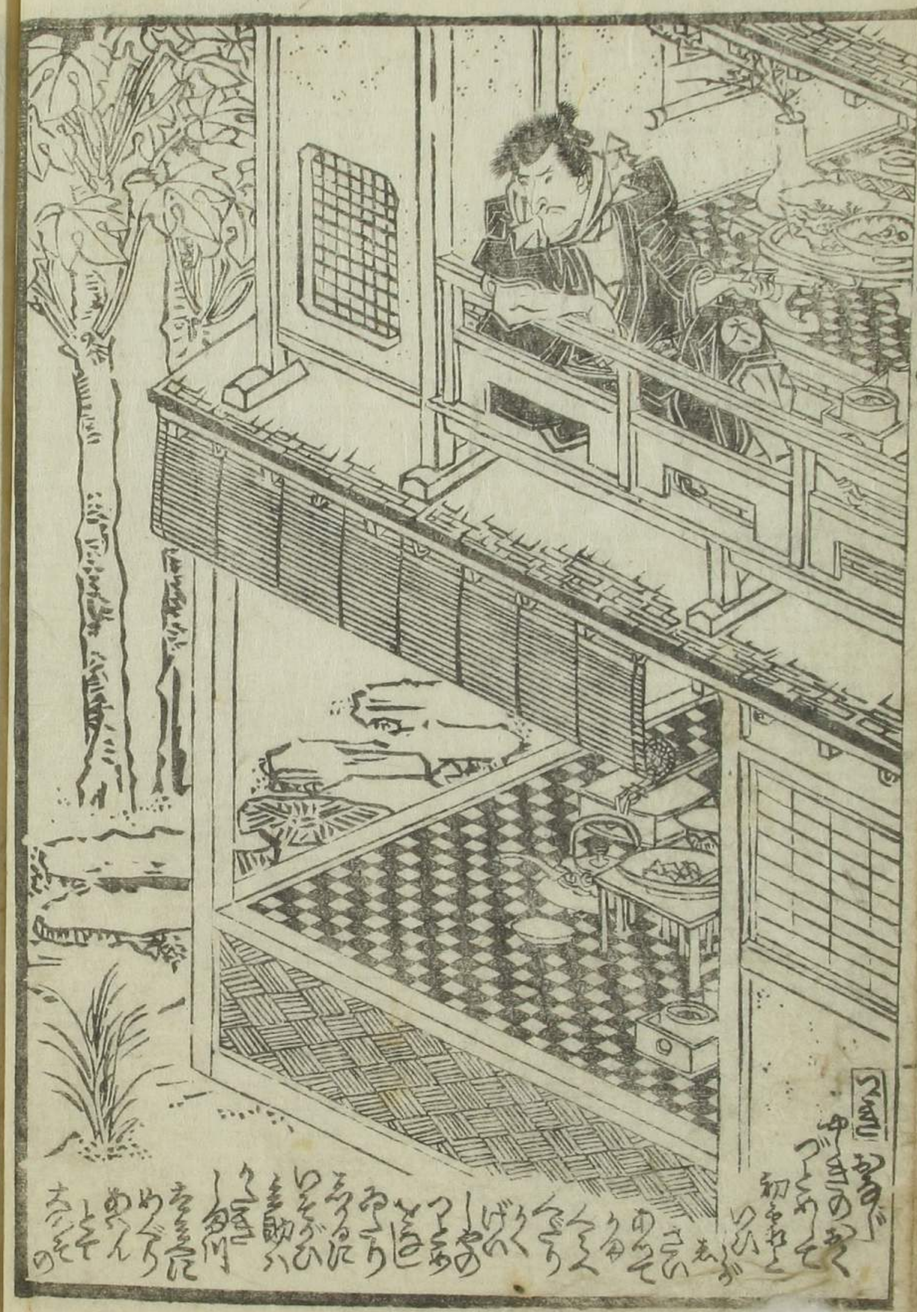
礒貝が下部 袖助
島川太兵衛
後ふ
源平堀の
玄
兵
衛

礒貝兵助
後ふ
香具屋の
清七

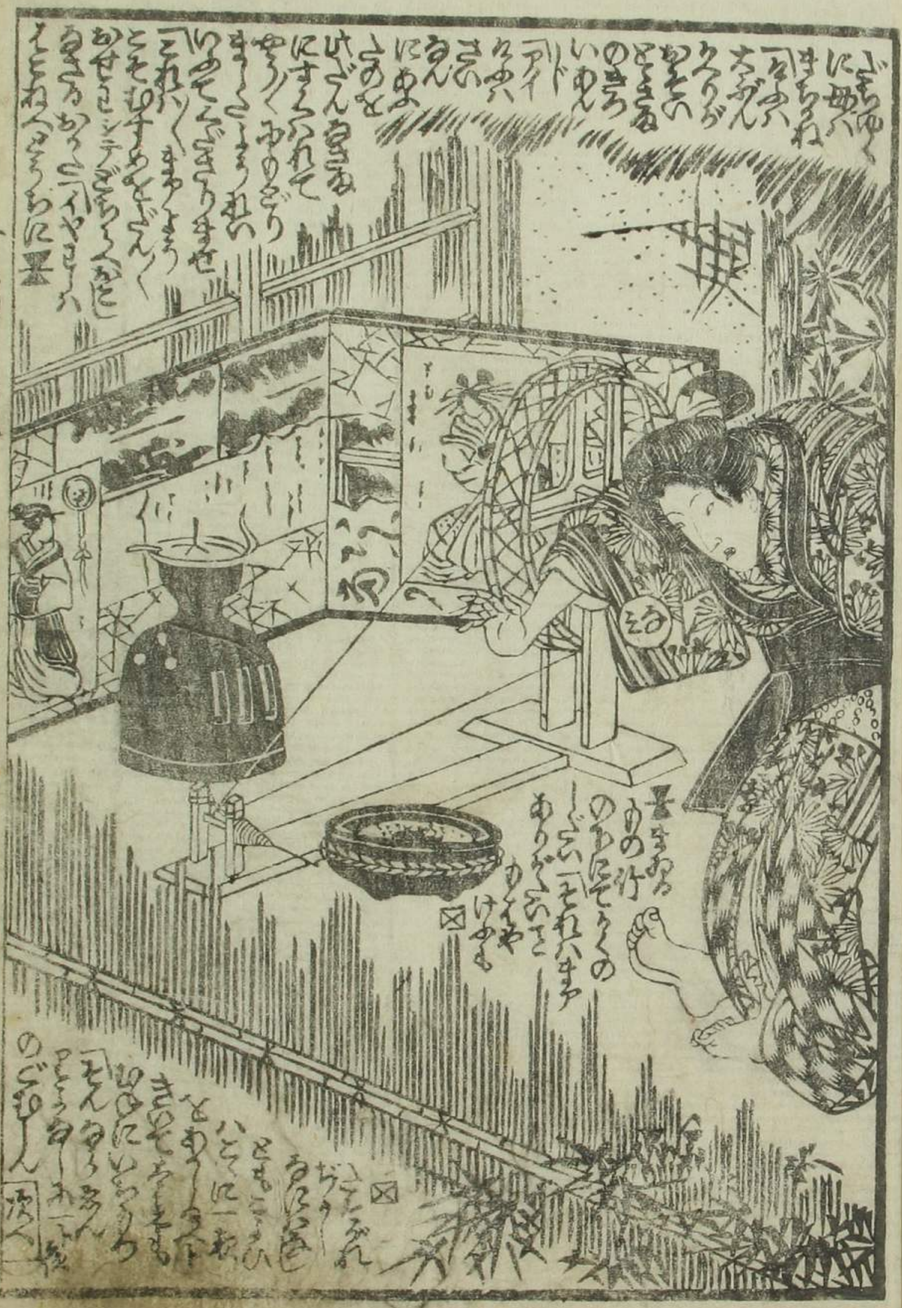
發端

奉納
市川團十郎

影向松



ちゑ川
ちゑ川
ちゑ川



美艶仙女香

一包四十八銅

此香ハ文政年中ハ高ハ係十一年二十一番の船主伊勢九と云る清朝人也時偶柔の時九と中の近江屋の芸妓菊好ふ接しる彩の墨れ寄方ゆりて行く清朝今の宮平の弟人孝小山屋ハ用く拵をかるるそれの中ハ加あつく和ゆ世くるを世文世まろ彩のつまろと彩もる

そのあのくこのくこハのまも和もあの地きあどハせる墨なれども彩のの明の墨を彩の寿剤あるバ世この彩ちの墨と一列より看ゆるるる色

功能

▲墨ハ用くいろを白くきるをこ多の中を▲ちをけそをを白ハ▲で紀りのくあとをを白く海色

▲いろをハ用く墨ゑといも紀を▲中きびるあのできるめを▲ちををるるれ

中を先を「刃れバ手をけても墨ハ赤ハのるるの」▲墨刀一切ので紀りのをハ▲ゆたを白るるれ

墨もを紀の彩れ彩をハ▲かをるるけぬきるれハ▲坂のを登外彩をハ▲拵をれ拵もれハ

調合賣弘所

江戸 堺町通 南てんま町三丁目

坂本氏

取次

中田氏
丸屋文蔵
大坂屋平兵衛
若林屋文四郎
[illegible]
三河屋[illegible]兵衛
和泉屋市兵衛
[illegible]
山田屋武兵衛
[illegible]屋文七
[illegible]久兵衛
[illegible]村[illegible]
き
[illegible]家八

山本平吉
和泉屋市兵衛
村山源兵衛
[illegible]屋[illegible]三郎
福田屋平兵衛
[illegible]伊三郎
[illegible]
丸屋喜兵衛
[illegible]
池の尾[illegible]
さくらゐ
玉 屋

つる屋金助
大黒屋平吉
柏屋平兵衛
松本新六
池の尾七郎
たかや大助
[illegible]
中村屋宗八
いづゝや和助
[illegible]
伊勢屋喜兵衛
[illegible]屋[illegible]八
[illegible]
鹿の川
[illegible]屋

西村与八
三河屋文四郎
[illegible]兵衛
八 辻 [illegible]八
[illegible]屋[illegible]吉
亀の尾[illegible]兵衛
柳川源八
[illegible]屋[illegible]
金[illegible]屋治助
[illegible]
和泉屋[illegible]八
福井[illegible]兵衛
かつさや
[illegible]

伊勢屋[illegible]
[illegible]村[illegible]
[illegible]屋文四郎
一ノ[illegible]
玉の井[illegible]助
日 [illegible]屋
[illegible]屋[illegible]八
[illegible]
[illegible]兵衛
[illegible]
まち 会
[illegible]屋
[illegible]平兵衛

乍恐口上書を以奉申上候
一 御一統様益御機嫌克被遊御座
恐悦至極ニ奉存候 [illegible]
江戸京橋南伝馬町三丁目にかの
新見世いたし東隣坂本氏[illegible]
立升る美艶仙女香と申粧の妙薬
[illegible]
仕合ニ奉存候 尚又此上御引立[illegible]
[illegible]御贔屓奉希上候以上
七代目
三升

豊国画

癸未
新板
後編
三竹
豊国

新山いへ為夜ぶん

一番太鼓

善弦曙 後編

三升作

豊國画

西宮春松軒

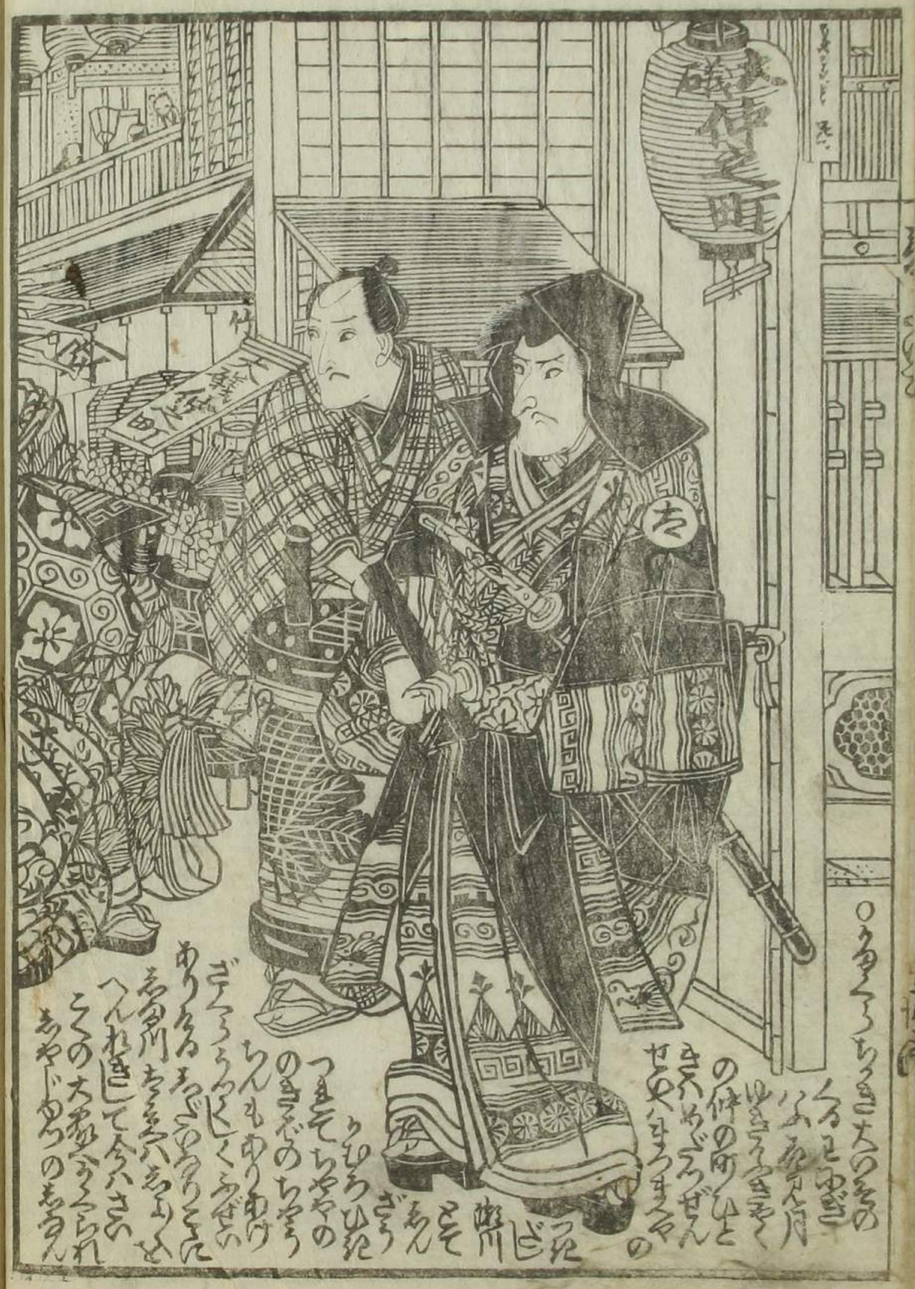
常磐今春文字摺

筆耕 藍庭晋米齋
彫工 加藤利助
校合 五柳亭徳升

板元 博町通
元彫屋町

市川團十郎作
歌川豊國画

「ゆめ」ゆめうらんつれそう
をらうそをゆめそおろけり
「ゆれゆやとさすがうきまも
「ゆめ」ゆれごとおりつくう
ゆめごとのごとうするものの
ゆくこゆれそんゆうそりゆ
ゆとくよゆうゆうさゆくゆ
今のゆうさゆりくゆゆけゆ
ゆうぎんゆゆゆりゆゆゆ
うゆてゆんゆゆ「ゆゆゆゆ
いゆゆゆゆうゆゆれゆゆゆ
ゆのゆゆひゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆれでゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆれゆゆゆゆ
せゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆんゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆ



六
十
九
八
大

十梅
花鶴
丸寿
龍三
川柳
手連

新製
役者似顔
歌川豊国
五流亭徳升
尾川豊国

画盃
市川團十郎

歌川豊國画　市川團十郎作

筆者　晋米齋

家製藥品目錄

江戸本町三丁目北側中程　式亭三馬

○吉例正月二日より松之内

○四月朔日吉例賣初と号そ

江戸の名

▲大箱　百五十文　▲中箱　百文　▲小そこ　五十文

御産ひ　ふくろ蘭奢袋

金勢丸　大包　百文　小包　五十文

御産ひ藥　あくひき白粉　薄化粧　一包　百文　半包　五十文

酒の酔をさまし　酒どくのほむけ　ぐそくけきろけそら　ろのぬ菓子　ぬ菓子　ぬ菓子

金　百文　酒の酔をさまし　酒どくのほむけ　ぐそくけきろけそら　ろのぬ菓子　ぬ菓子　ぬ菓子

金　百五十疋　○花の宴　金　二百疋

天女丸

正銘箱入御そくみが弐 大包 五十文 小包 三十文

ちくの黒藥

大包 百文 小包 五十文

他家無類製法 千挺入 五十文 五百挺 二十四文

伊吹山九年晒 御藥もぐさ

経験良藥 婦人萬病飲

龍樹散

一包 三十六文

けそくのとり

五十文 大包 二百文

小児百日せきの奇藥

代百文

恐賊八三天河 悠美八三彗提 坂東太郎強盗譚 全十五冊 五冊ヅヽ続く 式亭三馬作 哥川豊国画

一番太鼓春乃明保濃 全六冊 市川三升作 哥川豊国画

須磨浦の濱京 新口村の悲歎 忍弾仇汐汲 全六冊 瀬川路考作 哥川国貞画

音羽丹七 小糸佐七 本町育小糸苧環 全六冊 墨川亭雪麿作 北尾美丸画

契情月小夜 思美堂三郎 二重染曽我雁金 全六冊 古今亭三鳥作 北尾美丸画

茶番早合點二編 中本 全二冊 三馬作 國貞画

美艶仙女香 一包 四十八銅 南てん寺前 三丁めのうりう 坂本氏

地本 義太夫 抜本 錦繪問屋 江戸本材木町壹丁目 春松軒 西宮新六